

SUZUKA
Sound of ENGINE 20162016年5月10日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット**モータースポーツの歴史が凝縮された夢のヒストリックイベント**
歴史的な名車が大集合!
2016年11月19日(土)・20日(日)

鈴鹿サーキットは1962年の開場以来、F1グランプリ、ロードレース世界選手権、鈴鹿8時間耐久ロードレースを始めとした数々のレースを開催し、日本のモータースポーツの発展に寄与してまいりました。開場50周年を迎えた2012年には記念イベント「鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーデー」を開催し、2015年には「SUZUKA Sound of ENGINE」をスタートさせました。これからの50年を見据えながら、その礎となった歴史的価値を絶やすことなく維持し続けるための、鈴鹿サーキット初のヒストリックイベントです。

イギリスの「グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード」、アメリカの「モンレー・ヒストリックカーレース & ベブルビーチ・コンクール・デレガンス」など、歴史あるヒストリックイベントと並び称されることを目指し、国内外から数多くの往年の名車を招聘し、懐かしのエンジン音を轟かせました。さらに今年はフォーミュラ1レジェンドや日本のモータースポーツの原点とも言えるイギリス・マン島TTレースに挑んだ2輪レーサーなど、6つのカテゴリーに分けてイベントを開催。それぞれの歴史、魅力をより深くご堪能していただけるものとなっています。

※写真はイメージです
(Sound of Engine 2015の様子)

【カテゴリー1】 Group C ～世界を席巻したモンスターたち～

1982年、グループCカーと呼ばれるマシンによる戦い、世界耐久選手権シリーズ(WEC)が始まった。排気量無制限のターボエンジンを搭載し、1000馬力以上を絞り出すモンスターマシンの戦いで、日本でも1983年に全日本スポーツプロトタイプカー選手権(JSPC)がスタート。当初は王者ポルシェが956、962Cを投入し頂点に君臨したが、次第に国内メーカーも力をつけトヨタ、ニッサン、マツダが威信をかけて独自のグループCカーを開発しポルシェに対抗。これを打ち負かし、さらに世界へと進出。1991年にル・マン24時間レースでマツダ787Bが日本車初の総合優勝を飾ると、トヨタは92年、94年に総合2位を記録。ニッサンは92年にR91CPでアメリカのデイトナ24時間レースで総合優勝を飾る活躍を見せた。伝説の鈴鹿1000kmでもグループCカーのし烈な戦いがくり広げられ、そのシーンは今なお伝説として語り継がれている。

■参加決定車両

| | |
|------------------------|------------------|
| 1982年 スカイラインスーパーシルエット | 1989年 MAZDA 767B |
| 1983年 マーチ83G シルビア・ターボC | 1992年 NP35 |
| 1985年 グッピーMCS | 1992年 ニッサンR92 CP |
| 1986年 ポルシェ962C | |



スカイラインスーパーシルエット



MAZDA 767B



ニッサンR92 CP

【カテゴリー2】 日本のモータースポーツの原点 ～プリンスが生んだ純国産レーシングマシン“R380”～

1964年に鈴鹿サーキットで行われた第2回日本グランプリでポルシェ904GTSに敗れたプリンス自動車は日本初のプロトタイプカーR380を開発。第3回日本グランプリでポルシェ906との死闘の末砂子義一がドライブするR380が優勝。見事雪辱を果たした。

■参加決定車両

1966年 R380 (A-I型)



R380(A-I型)

【カテゴリー3】 Formula of LEGEND

1987年鈴鹿サーキットで初めて開催されたF1グランプリは大きなブームを巻き起こしたが、F1が始まったのは1950年。古い歴史の中で数多くの名車が生まれ、数多くの名勝負、ドラマが生まれた。時代を彩ったF1マシンが時を超えて鈴鹿サーキットに集う。

※参加車両は決まり次第発表します

【カテゴリー4】 世界に勝ち、世界に敗れた日本 ～WGP250 90年代～

日本メーカーが活躍してきた世界GPは1990年代に入るとGP250ccクラスで日本人ライダーが大活躍。1993年にはYAMAHAの原田哲也がタイトル獲得。鈴鹿サーキットでの日本グランプリもジャパンパワーが席巻したが、次第に海外メーカーに遅れをとって行った。

※参加車両は決まり次第発表します

【カテゴリー5】日本のモータースポーツの原点～マン島TT～

1959年Hondaチームは4台の125ccマシンとともに当時の最高峰、マン島TTレースに参戦。3年目の1961年、Hondaは世界選手権の1戦となったマン島に再び上陸。125ccクラス、250ccクラスで悲願の優勝を飾った。

※参加車両は決まり次第発表します

【カテゴリー6】TIME TRAVEL PARKING

日本のモータリゼーションを彩った、1976年以前に生産された2輪車、4輪車限定200台が、鈴鹿サーキット国際レーシングコースのパドック内に設けられた専用スペースに集う。市販車もレーシングマシンも参加可能で、古き良き時代の名車から時代を築いたレーシングマシンまでが展示される様はまさに壮観。フルコースを走行するTIME TRAVEL PARADEも行われ、懐かしの思い出、あのシーンが鮮やかに蘇ってくる。



※写真はイメージです

TIME TRAVEL PARKING募集要項

- 対象車両: 1976年以前に生産された2輪車・4輪車(限定200台)。市販車・レーシングマシンとも可能
- 参加条件: 11月19日(土)・20日(日)のいずれか、もしくは両日において11:00～14:00の間、パドック内指定エリア(屋外)に展示していただける方
 ※自走にて鈴鹿サーキットまでご来場いただける方を募集いたします。止むを得ず積車でご来場される場合は、別途ご相談に応じます。
 ※雨天決行となります。
- 参加特典: 1. レーシングコース内パドック専用エリアにご駐車いただけます。
 2. 各日1回、国際レーシングコース・フルコースを走行するTIME TRAVEL PARADEにご参加いただけます。
 ※時速60kmの先導走行となります。
 3. ご参加の記念として“SUZUKA Sound of ENGINE 2016”をイメージしてデザインされたナンバープレートを差し上げます。ナンバープレートには展示車両名と製造年式を記載いたします。
- 参加料金: 1台 5,000円(税込) ※2輪車のみ、2台目以降は1台3,000円(税込)
 ※“SUZUKA Sound of ENGINE 2016”5名様入場券含む。
 ※19日(土)または20日(日)のみ参加、あるいは両日参加でも料金は同一です。
- 募集期間: 2016年5月15日(日)～8月31日(水)
- 応募方法: 1. Webサイトよりお申し込みください(<http://www.suzukacircuit.jp/soundofengine/>)
 2. FAXもしくは郵送でのお申し込みの方は、下記までご連絡ください。
 SUZUKA Sound of ENGINE 2016 TIME TRAVEL PARKING事務局
 TEL 059-378-1111(鈴鹿サーキット代表)
- 参加車両の決定: ご応募いただいた車両中から審査のうえ、参加車両を決定させていただきます。なお、審査結果は応募後、1週間以内にメールにてご連絡します。

チケット情報**9月25日(日) チケット発売開始****■プレミアムエリアについて**

VIPスイートプレミアム、およびホスピタリティラウンジなどプレミアムエリアについては、決定次第ご案内いたします。

■前売券

| | 大人 | 中高生 | 子ども (小学生) | 幼児 (3歳～未就学児) |
|------------------|---------------|---------------|--------------|-----------------|
| 1日券(土・日いずれか1日有効) | 2,500円 | - | - | - |
| 2日券(土・日2日間有効) | 3,500円 | 1,700円 | 800円 | 600円 |

■当日券

| 大人 | 中高生 | 子ども(小学生) | 幼児(3歳～未就学児) |
|--------------------------------|----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 4,000円 (土・日いずれか1日有効) | 1,700円 (モトピア入園券) | 800円 (モトピア入園券) | 600円 (モトピア入園券) |